

## § 協会の動き（令和元年12月・令和2年1月分）

★ イノベーションセミナー及び賀詞交歓会を開催

### 一般社団法人 埼玉県電業協会 2020年提言

2030年に向けて持続可能な開発目標

# 耀け 埼玉 埼電協!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1月24日、ホテルブリランテ武蔵野においてイノベーションセミナーを開催し、正会員、賛助会員、県職員他、約80名が出席しました。

セミナーでは第1部で「持続可能な社会のための官民の『共通言語』SDGs」と題し、允治社代表の泉貴嗣氏が講演。泉氏はSDGs（持続可能な開発目標）イコールCSR（企業の社会的責任）とした上で、「経済・労働・福祉・環境・地域



講師 泉氏

政策など、政治の課題は今や企業の経営課題そのもの。目の前の顧客満足だけでなく、その先の社会に対して自分の会社の得意分野で何ができるか、不得意なこととは何かを考え、どう実行するか。他分野の人と接し、頭を柔らかくすれば解決策も見えてくる」と強調しました。

第2部のパナソニックライフソリューションズ社埼玉電材営業所課長の大島宏樹氏によるSDGs自社取組の講演の後、第3部で岡村会長より、国連が採択し世界に呼び掛けているSDGsをもとにした中長期



計画『耀け 埼玉 埼電協!』 ①県有電気設備の施工と保全、災害に打ち勝つ確かな品質②半世紀の実績と先端技術、想像する未来の埼玉③魅力あふれる電設業界、発展し続ける会員企業、の3つの柱を発表しました。内山祥章総務委員長と吉村光司総務副委員長による基調講演では、この3つの柱をもとにした9つのActionについて説明しました。

## 1. 県有電気設備の施工と保全、災害に打ち勝つ確かな品質

## 【2030Action】



1-1

県有電気設備の責任施工を担うため、県発注案件を会員企業が受注します。



1-2

災害時応急対策協定を順守すると共に、災害に強い電気設備の施工を提案します。



1-3

県が取り組むエネルギーの効率的な利活用に参画し、環境保全に貢献します。

## 2. 半世紀の実績と先端技術、創造する未来の埼玉

### 【2030Action】



2-1

若年層への教育訓練を強化し、確実な技術の継承を実現しま



2-2

技術革新のスピードに合わせ、先進的な技術を推進し、埼玉の未来を豊かにします。



2-3

資源の適切かつ有効な利用と高品質保守により、県民の安全と安心を守ります。

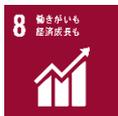
## 3. 魅力あふれる電設業界、発展し続ける会員企業

### 【2030Action】



3-1

女性のキャリアアップを図り、だれもが活躍できる業界を目指します。



3-2

会員企業の健全経営に努め、全従業員の幸せな生活を支えます。



3-3

産官学の連携により、全会員企業の持続可能な発展と繁栄に寄与します。

今後、各委員会でロードマップをまとめるとともに、5月の総会で各事業項目を示し、具体的施策を進めていきます。

セミナー後は賀詞交歓会で会員間の交流を深めました。



## ☆ 県立春日部工業高校で出前授業

[広報・人材育成委員会事業]

1 2月6日、県立春日部工業高等学校で会員企業への就職サポートの一環として「業界説明」の出前授業を行いました。5、6時限を使って電気科2年生の生徒76人に向けて、会員企業の若手技術者が電気設備工事業界の仕事の内容を紹介。進路選択の参考として、地域の暮らしを支える業界の重要な役割を伝えました。



5限は矢嶋博和広報委員長の司会で開始。初めに電気科の籠宮義人教諭が出前授業の趣旨を説明。「この有意義な時間をいかに過ごすかが大切です。多くの生徒がこういった業界に興味を持って日本を支えていく職に就いてもらえると、われわれ電気を教える人間も非常にありがたいです」とあいさつしました。

協会を代表して川合 昭副会長は「出前授業も本日で3回目。今日は私たちの業界を理解していただき、来年の今頃は私たちの業界で活躍していることを期待しております。私から見て電気工事は、カッコいい仕事だと思います。社会の役に立つ仕事でもあります。ぜひ、われわれの業界に来てください」と将来の活躍に期待しました。

続いて深井正美広報委員が『電気業界と仕事内容について』と題して講演。電気工事業界の中でも、一般住宅をはじめ、マンション、オフィスビル、工場といった民間工事、また庁舎、学校、体育館といった公共施設の工事など多岐にわたって存在する電気工事の内容を説明しました。会社内での仕事に関しては現場施工、施工管理、設計、積算の部門ごとに、役割分担を解説するとともに、求められる資格取得などについて話しました。

6限の司会は金子圭人材育成副委員長が担当。

入社1年目の中山大貴氏(倉持電気㈱)、同じく1年目の中村大翔氏(中村電設工業㈱)、10年目の内田裕樹氏(前同)、2年目の新島達也氏(㈱万代電気工業)がそれぞれこれまでに培った経験をもとにアドバイス。進路選択の参考にしてもらうべく、出身、キャリアの違う4人が、各自作成したパワーポイントを使って仕事内容を思い思いに発表しました。



中山氏



中村氏



内田氏

最後に佐野雄一朗人材育成委員長が、入社時からの歩みを目安として示した協会作成の『キャリアルート』と日本電設工業協会発行の『電設業界へようこそ』を配付し内容を紹介、この業界がいかに地域社会に貢献しているか、日常の生活を支えるために必要不可欠な仕事であるかを伝えました。



新島氏